飯塚病院

循環器病センター レター

2023 年 2 月発行　Vol.8

MitraClip 初回症例　無事に成功！（2022 年 12 月 8 日）

◇『循環器病センターレター』Vol.8 発行にあたって

拝啓　余寒の候、皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。お変わりなくお過ごしでしょうか。本邦におけるコロナウイルスの総感染者数は 3000 万人を超え、ワクチン接種率も高まってはおりますが、沈静化にはまだ時間がかかりそうです。

現在の医療ではどの領域においても治療の低侵襲化が目指され、技術革新が進んでいます。外科領域においては切開創の縮小、内視鏡下に行う鏡下手術などが進歩し、また TAVI に代表されるように高齢者の弁膜症治療はカテーテル治療も選択肢として確立してきました。循環器病センターでは近年重症心不全患者さんの治療選択肢として注目されている、僧帽弁閉鎖不全症のカテーテル治療（MitraClip）を導入し、昨年末に初回症例を終えることが出来ました。今後更なる治療経験を経て、この地域で必要な新たな治療を患者さんに提供出来るよう一同努力していきたいと考えております。

年始にあたり、2022 年 1 年間の診療成績についてご報告させていただきます。コロナウイルスの蔓延により、診療におきましてご迷惑をおかけしている現状もございますが、当センターで出来ることを日々しっかりと務めさせて頂きたいと考えております。本年も御指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

2022 年 2 月吉日　循環器内科

部長　井上修二朗

◇診療実績・TOPICS　心臓血管外科　　部長　内田孝之

◆2022 年診療実績・TOPICS

新年明けましておめでとうございます。昨年中は本当にお世話になりました。

2023 年、5/8 からは 5 類へと移行されても、目の前のコロナの第 8 波流行がすぐに止まるわけではない今日この頃、皆様変わらず大変な中での診療に邁進されておられる毎日と思われます。

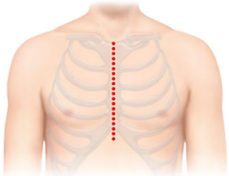
本来でしたら昨年一年の皆様からの甚大なるご協力への感謝について、年頭の筑豊循環器懇話会、あるいは施設訪問などを通じてご挨拶、ご報告を行うべきところですが、今年も文書でのご報告ご挨拶に代えさせていただきますことお許しください。

昨年、コロナ禍の中、病棟クラスターにより一時短期間ながらも手術停止の時期もありました。にもかかわらず皆様からの御紹介により手術症例数としては、コロナ前と比較してもむしろ徐々に増加しており、ありがたい限りです。今年はコロナの流行が下火となり、皆様方の施設へご訪問あるいは懇話会開催などを通じて、より顔が見える形での交流連携を図れることを願っております。

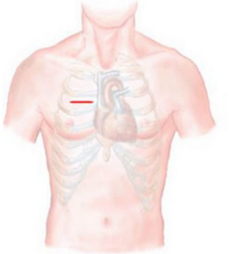
当科での昨年のトピックスとしては**“低侵襲心臓手術の大動脈弁手術への適応拡大”**です。

これまでは僧帽弁、三尖弁疾患、心房中隔血栓症など心房切開下手術症例としていましたが、高齢者大動脈弁疾患のうち解剖学的に TAVI が不向きな症例に対する新たな option として導入しました。胸骨正中切開を避け、MICS 僧帽弁手術同様、右胸部の 7-8ｃｍの皮膚切開から大動脈弁置換を行う方法【MICS AVR】（図１）です。これに加えて、縫わずに挿入できるあらたな大動脈弁用人工弁【sutureless valve】（図２）も導入を進めています。もちろん大動脈の性状など十分安全性について検討した上の症例選択は必要ですが、安全性を担保しつつ少しでも小さな傷で、少ない侵襲で治療を行いたいと思います。これらの低侵襲心臓手術は高齢者にも、いや高齢者にこそメリットがあると考えます。TAVI に加えてこれらの治療法 option を導入することで個々の症例に応じて最適かつ極力、低侵襲治療法を施行していきたいと思います。

（図１）

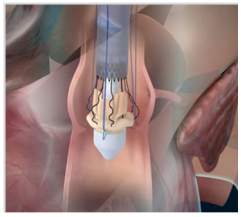


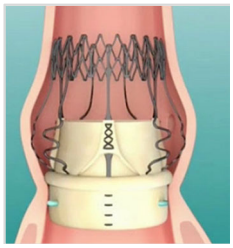
通常の心臓手術創



MICS AVR の手術創

（図２）





なお、低侵襲心臓手術の次の展開として今年は、薬剤不耐性心房細動症例に対する小切開左心耳閉鎖術の適応拡大を目指しており、ロボット手術も視野に入れつつ低侵襲治療の幅をさらに広げていく予定です。

大動脈ステント、MICS、TAVI、そして MitraClip、ロボット手術と低侵襲化の流れは今後も進んでいくものと思われます。そういった治療の進化に十分対応し、かつ緊急時の対応力も維持していくことが私たちの変わらぬ目標です。筑豊にしっかりしたレベルの心臓外科治療を２４時間３６５日お届けできるよう、今後もチーム一丸となって精進していきたいと思います。

【2022 年　手術症例数】

- ■ 冠動脈バイパス術(CABG)：44 (心拍動下バイパス術(OPCAB):1)
- ■ 弁膜症手術(VHD)：67
  （+CABG:15 、小切開弁膜症手術(MICS):7、カテーテル大動脈弁留置術(TAVI):19）
- ■ 胸部大動脈瘤手術：72（+VHD:5、+CABG:5、胸部ステントグラフト内挿術(TEVAR):31）
- ■ その他の開心術：4

心臓＋胸部大動脈手術：187

- ■ 腹部大動脈瘤手術：57　（腹部ステントグラフト内挿術(EVAR):42)、追加治療：12
- ■ ペースメーカ　新規：124、交換：47、リード：10
- ■ ICD　新規：15（皮下植え込み型(s-ICD) 6 例含む)、交換：7
- ■ CRTD 新規：7、CRTP 新規：10、CRT 交換：3
- ■ その他：65

※下肢血管手術は血管外科に記載

◇診療実績・TOPICS　循環器内科　　部長　井上修二朗

◆2022 年診療実績

2022 年も外来・病棟とも新型コロナウイルスにより時期によっては診療制限が強いられましたが、循環器疾患の急性期診療を止めないよう心がけ診療にあたりました。診療の最前線で支えてくれた診療チームやコメディカルスタッフに感謝しています。2022 年も疾患内訳は例年とほぼ同様、心不全・虚血性心疾患・不整脈の 3 大疾患をはじめとして下記のような疾患診療をチームで行いました。病棟での診療管理もチームで充実し、予期出来た急変や病状悪化を減らし安定した診療が出来つつあることを実感しています。2022 年には僧帽弁膜症のカテーテル治療を導入出来、初回症例を無事に成功することが出来ました。2023 年もより高い目標を持ちこの地域のために当センターの発展に努めたいと思います。

【2022 年入院主病名（循環器主要疾患）】

総入院患者数：1699 人　　平均年齢　72.6 歳　　急患数　773 人（45%）
死亡 49 人（3.0%）　　平均在院日数　10.6 日

＜疾患内訳（重複なし）＞

心不全・肺水腫：357
心臓弁膜症：47
肥大型心筋症：10
心筋症・拡張型心筋症：9
心アミロイドーシス：5
心サルコイドーシス：4
たこつぼ心筋症：8
先天性心臓病：1
急性心筋梗塞：211
陳旧性心筋梗塞・虚血性心筋症：20
不安定狭心症：24
安定狭心症：64
冠攣縮性狭心症：29
無症候性心筋虚血：118
特発性冠動脈解離：2
その他の虚血性心疾患：17
急性大動脈・動脈解離：18
胸痛症候群：10
動脈瘤・大動脈瘤：0
閉塞性動脈硬化症：56
急性動脈閉塞：1
鎖骨下動脈閉塞：1
肺動脈血栓塞栓症：22
深部静脈血栓症：5
肺高血圧：7
高血圧性心疾患：1
肺炎・気管支炎：1
COVID-19 感染症：2

心房細動：196
心房粗動・心房頻拍：21
洞不全症候群：46
房室ブロック：72
QT 延長：3
薬剤性徐脈：3
WPW 症候群：1
発作性上室頻拍：15
心室性期外収縮：3
心室頻拍・心室細動：20
ブルガダ症候群：1
失神発作：8
心筋炎：3
心膜炎・心外膜炎：1
収縮性心膜炎：0
感染性心内膜炎：3
心タンポナーデ・心のう液貯留：3
睡眠時無呼吸症候群：3
腎不全：3
脳血管障害：0
心原性ショック：2
心臓腫瘍：2
敗血症性ショック：2
心停止・蘇生に成功した心停止：10
下血：2
デバイス関連事象：11
筋肉内血腫・皮下血腫：2
貧血：2
その他：14

◇診療実績・TOPICS　循環器内科　　部長　井上修二朗

心臓カテーテル検査・治療、デバイス治療総数：1705

◇冠動脈インターベンション（PCI）：445（緊急 PCI：208（46.7%））
　バルーン拡張術(POBA)のみ：31
　ステント：387
　ダイアモンドバック：28
　ロータブレータ：21
　（プレッシャーワイヤー：77 、血管内超音波(IVUS)：487、OCT：23）
◇末梢血管インターベンション（EVT）：112
◇カテーテルアブレーション：253
　心室頻拍：7
　心室細動：1
　心室期外収縮：3
　心房細動：207（発作性 101、持続性 79、長期持続性 27）
　発作性上室性頻拍：11
　心房粗動・心房頻拍：24
◇デバイス埋め込み術
　永久ペースメーカー埋め込み術：122
　埋め込み型除細動器埋め込み術：8
　両心室ペースメーカー埋め込み術：9
　除細動機能付き両心室ペースメーカー埋め込み術：8
◇構造的心疾患インターベンション
　経皮的中隔心筋焼灼術(PTSMA)：1
　経皮的経静脈的僧帽弁交連裂開術(PTMC)：2
　経皮的大動脈弁形成術(PTAV)：0
　経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)：18（＊循環器病センター成績）
　経皮的僧帽弁接合不全修復術（MitraClip）：1（＊循環器病センター成績）
◇心筋生検：43
◇その他
　下大静脈フィルター：5

◆MitraClip 初回症例 無事に成功！

MitraClip は、外科的治療が困難な重度の僧帽弁閉鎖不全症の患者のための、低侵襲な経皮的僧帽弁接合不全修復システムです。僧帽弁の逆流部位に上記のクリップを把持する治療ですが、カテーテルで位置させ最終的にカテーテルを抜去することでクリップのみを留置します。大腿静脈からのアプローチで侵襲が少なく、術後の回復も早いことが特徴です。

2022 年 12 月 8 日にハイブリッド手術室において、ハートチームで初回症例を行い、無事に治療が奏功し患者さんは退院されました。僧帽弁閉鎖不全は減少し、退院後の外来では息切れが改善しています。今後症例を積み重ねていく必要がありますが、症例経験が増加しましたらその有効性について、あらためて先生方にご報告させていただきます。

◇診療実績　血管外科　　部長　松元 崇

◆ 2022 年 診療実績

2022 年の飯塚病院血管外科ですが、コロナウイルス感染の 6・7・8 波による診療制限を経験しましたが、最終的にはどうにか今年も例年同様の手術件数を行うことができました。これもひとえに皆様のお力添えのおかげと深く感謝しております。

末梢動脈疾患に対しては、下肢の安静時疼痛や虚血性潰瘍を伴う重症虚血肢（=包括的下肢慢性虚血）の患者様をおもに対象として、下肢の血管病変や全身状態にあわせてバイパス手術・血管内治療（EVT）あるいはハイブリッド治療などの血行再建を選択しております。最近は糖尿病・透析患者様の増加傾向から、病変も広範囲でかつ膝下血管病変の患者様が主流となってきておりますが、昨年も同様の傾向でありバイパスのターゲットも膝下の血管（いわゆる下腿・足部血管）が主流となってきております。

下肢静脈瘤については血管内焼灼術（レーザー治療）を第 1 選択としていますが、接着剤による血管内治療（シアノアクリレート治療）も選択可能となっております。さらに、2022 年に側枝静脈瘤に対する切開をしない治療（側枝静脈瘤焼灼術）も導入しました。技術的には難易度は上がりますが、穿刺のみで治療が完結でき、傷も残らないことで、治療の低侵襲化や患者様にも好評を頂いております。

今後も一層のご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【2022 年 手術症例数】

動脈疾患

血管移植術、バイパス移植術　24 例
（下腿、足部血管）　12 例
（膝窩動脈）　7 例
（その他の動脈）　5 例
動脈血栓内膜摘出術　11 例
四肢の血管カテーテル治療（含むハイブリッド治療）　26 例
末梢動脈瘤手術　4 例
血管縫合術（ECMO/Impella 抜去含む）　27 例
動脈塞栓除去術　3 例

腹部大動脈瘤手術（心臓血管外科と重複あり）

人工血管置換術　15 例
EVAR（ステントグラフト内挿術）　40 例

静脈疾患

下肢静脈瘤血管内焼灼術　66 例

その他 5 例

総数　221 例

Information

飯塚病院 循環器内科　WEB 講演会のご案内

日　時　2023 年 2 月 28 日（火）19:00～

座　長　いわみハートクリニック
院長 岩見元照 先生

テーマ　心不全の治療戦略～MitraClip という選択肢～

講演者

飯塚病院 循環器内科
大賀泰寛　医師

☆今後の WEB 講演会スケジュール予定
3 月以降の詳細な日程は決まっておりませんので、
決まり次第改めて、ご案内させていただきます。

※具体的な視聴方法は、別途ご案内いたします。

お問い合わせ　飯塚病院 循環器内科医局 TEL：0948-22-3800（代表）

◇受診について　（2023 年 2 月現在）

■心臓血管外科・血管外科　予約必要　紹介状必要

医師名	月	火	水	木	金
内田 孝之	AM● PM○	AM○/●			
橋野 朗	●				
岡田 重			●		
安藤 廣美			PM○	AM○	
田中 二郎		●			
松元 崇 （血管外科）				AM● PM○	AM○/●

○：初診　●：再診

◆低侵襲心臓手術外来　【電話にて相談】内田 孝之
◆ペースメーカ外来　【水・金曜日の午後】
◆心臓手術　【月曜】内田 孝之
◆大動脈瘤外来　【木曜】松元 崇
◆静脈瘤外来　【木曜・第1金曜 午前】
◆足病外来　【第1金曜 午前】 松元 崇　【第3金曜 午前】古川 正一郎
外来直通電話番号　0948-29-8024（心臓血管外科）（血管外科）

※大動脈瘤、末梢動脈疾患、下肢静脈瘤、虚血性心臓病・弁膜症などの手術を対象とした外来を行っています。疾患に沿った予約を行っていますので事前予約をお願いします。

※受診や当科疾患に関してのご質問、疑問があれば、まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。
☎予約・お問い合わせ：
0948-29-8024
（平日：9:00～17:00）

循環器ホットライン（24 時間 365 日対応）
急患依頼　0948-29-8846（ダイヤルイン）

■循環器内科・心不全ケア科　紹介状必要

医師名	月	火	水	木	金
井上 修二朗	○/●		○/●		
稲永 慶太		○/●			○/●
川上 将司	○/●			○/●	
髙原 勇介			○/●		○/●
本田 修浩				○/●	
大賀 泰寛		○/●		○/●	
石川 智一	○/●		○/●		
古川 正一郎		○/●			
児島 啓介					○/●

○：初診　●：再診

専門外来（予約必要）
◆睡眠時無呼吸外来　【第1、3、5木曜】児島 啓介【第2、4木曜】吉峯 晃平
◆ICD外来　【月曜】稲永 慶太、髙原 勇介、本田 修浩、大賀 泰寛
◆学校検診
外来直通電話番号　0948-29-8036（循環器内科）

※虚血性心疾患、心不全、不整脈、末梢動脈疾患などの外来を行っています。毎日診察を行っていますので、平日 8:00～11:00 までに紹介状を持参し来院をお願いします。

※受診や当科疾患に関してのご質問、疑問があれば、まずはお気軽にお電話でお問い合わせください。
☎お問い合わせ：
0948-29-8036
（平日：9:00～17:00）

循環器病センター
オリジナルホームページ公開中☆

循環器病センター レター　Vol.8

【発行】飯塚病院 循環器病センター　【発行日】2023 年 2 月
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83　TEL：0948-22-3800（代）
心臓血管外科直通電話：**0948-29-8024**　循環器内科直通電話：**0948-29-8036**
http://aih-net.com